

JISA Digital Masters Forum 2017

人に優しい未来社会を創る

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ 開催報告 ＝ ＝ ＝ ＝ ＝



平成 29 年 10 月 24 日、「JISA Digital Master Forum 2017～人に優しい未来社会を創る」をソラシティカンファレンスセンター（東京・御茶ノ水）で開催し、455 名が参加した。

多様なセッション

フォーラムは、坂村健氏（INIAD 学部長）による招待講演「オープン IoT で広がる未来～ IoT から IoS へ～」で幕を開け、続いて石戸奈々子氏（NPO 法人 CANVAS 理事長／慶應義塾大学准教授）による招待講演「デジタルキッズ～想像する心と創造する力を育む～」が行われた。

その後は 4 会場に分かれ、「英国のデジタルエコシステム」「JISA Award 受賞者講演」「未踏クリエイターセッション」「ソフトウェア品質評価」、ロンドンパラリンピック金メダリストによる講演、立教池袋中学校・高等学校数理研究部による発表などさまざまなテーマの 9 セッションが行われ 18 名が登壇した。

※プログラム詳細：<http://www.jisa.or.jp/Portals/0/data/jdmf2017.pdf>

経験報告発表



田中氏



白木氏

JISA Digital Master Forum 2017 のテーマ「人に優しい未来社会を創る」に沿った、エンタープライズ系及び組込み系の現場における、ソフトウェアエンジニアリングの実践や、定性的又は定量的な効果に係る経験報告及び実践事例を募集し、採択された 7 件の経験報告が発表された。

また、審査の結果、田中貴子氏（日本電信電話）の「4時間で『アジャイルになる (To be Agile)』体質をつくる方法」、白木徹氏（デンソー）の「自動車 HUD ソフトウェア開発におけるアーキテクチャドリブンなインクリメンタル開発と実践経験」に優秀賞が授与された。

情報交換パーティ



講演終了後の情報交換パーティでは、経験報告発表優秀賞の表彰式や、来年 11 月 7・8 日に東京で開催される「ASOCIO2018」の紹介が行われた。

参加者は講師と歓談したり、会場内で開催していたポスターセッションで講師と意見を交わすなどして、交流した。



ポスターセッション

(赤尾)

※関連記事を JISA 会報 2018 年 1 月号に掲載予定。